

山柔協第29-312号
平成29年 4月29日

各市柔道協会等団体の長 様
各小学生所属チームの長 様

一般社団法人山口県柔道協会
会 長 吉 岡 剛
(会長印を省略しています。)

第14回全国小学生学年別柔道大会山口県予選会及び第35回九州
少年柔道大会山口県選手選考会の試合規定について（通知）

当協会の事業については、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、第14回全国小学生学年別柔道大会（本大会：北海道）の審判規定について、全柔連の3月21日の通知により国際柔道連盟試合審判規定（2017-2020）を適用することとされていましたが、この度、この適用に伴い、全柔連から下記の試合規定が示されましたので、標記予選会及び選考会の審判規定について、別添の要項（改訂版）により実施しますのでお知らせします。（第35回九州少年柔道大会山口県選手選考会については、試合時間を2分間とします。）

記

- 1 試合時間は3分間とし、トーナメント戦で行う。
- 2 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する。（延長戦は行わない）
（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）
（「指導」数に差が出ても判定になる例＝0対1、1対2）

<照会先>

（一社）山口県柔道協会

事務局 藤井 勝正

電話：FAX 083-924-9510

e-mail：yjk@c-able.ne.jp

住所：〒753-0871 山口市朝田引地581-2

第14回全国小学生学年別柔道大会山口県予選会開催要項（改訂版）

- 1 目的 我が国の将来を担う小学生の心身とも健全な育成をめざすとともに日本柔道を背負うジュニア選手の育成を目的とする。
- 2 主催 一般社団法人山口県柔道協会
- 3 主管 防府市柔道協会
- 4 後援 山口県スポーツ少年団本部 公益財団法人山口県体育協会（予定）
- 5 日時 平成29年5月14日（日）午前9時00分開会式
受付・計量 午前8時00分～8時50分
- 6 会場 防府市武道館 防府市浜方
- 7 参加資格及び試合方法
 - (1) 平成28年度全日本柔道連盟に競技者登録をしている者であり、公認指導者資格を有する監督が引率すること。
 - (2) 種別及び体重区分は次の通りとする。
 - ① 小学5年生男子45kg以下級 ② 小学5年生男子45kg超級
 - ③ 小学6年生男子50kg以下級 ④ 小学6年生男子50kg超級
 - ⑤ 小学5年生女子40kg以下級 ⑥ 小学5年生女子40kg超級
 - ⑦ 小学6年生女子45kg以下級 ⑧ 小学6年生女子45kg超級
 - (3) 選手の年齢区分は次の通りとする。
 - ① 小学5年生の部：平成18年4月2日以降に生れた者
 - ② 小学6年生の部：平成17年4月2日以降に生れた者但し、帰国子女等については、この年齢制限を適用せず、学年齢による種目に出場できる。
 - (4) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者及び学校の承諾を得ること。
また、スポーツ障害保険に加入していること。
 - (5) 試合は各階級トーナメント戦で行う。
- 8 試合規程
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2017-2020）・国内における「少年大会特別規定」並びに本大会申し合せ事項により行う。
 - (2) 試合時間は3分間とする。
 - (3) 勝敗の決定基準は「1本」「技あり」「僅差」とする。

「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する。（延長戦は行わない）

（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）

（「指導」数に差が出ても判定になる例＝0対1、1対2）
- 9 組合せ 平成29年4月下旬、一般社団法人山口県柔道協会少年強化委員により実施する。
- 10 選考結果 各階級1位者を代表とし、2位者を補員候補者とする。
- 11 参加料 参加料は、1人500円（大会当日、受付にて各団体でまとめて納入すること。また、

欠席の場合も納入すること。)

- 12 参加申込 参加者は、各団体が所定の様式により原則として**電子メール**で申込むこと。
申込期限 平成29年4月12日(水)必着(期限を過ぎての申込は受付けない)

申込先 一般社団法人山口県柔道協会

電子メールアドレス : yjk@c-able.ne.jp

〒753-0871 山口市朝田581-2

電話 083-924-9510

- 13 留意事項 (選手及び指導者は下記の事項を遵守すること)

- (1) 大切な成長過程にあることを重視し、無理な減量を行わないこと。
- (2) 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
- (3) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

なお、至急、専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること。練習開始に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。また、当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面で事故報告書を提出すること。

- (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

- 14 その他 全国大会は、平成29年8月20日(日)北海道・きたえーるで開催される。

第35回九州少年柔道大会山口県選手選考会開催実施要項（改訂版）

- 1 目的 第35回九州少年柔道大会(以下「九州大会」という。)の山口県代表選手（小学1年生から4年生）を選考する。
- 2 主催 一般社団法人山口県柔道協会
- 3 主管 防府市柔道協会
- 4 後援 山口県スポーツ少年団本部 公益財団法人山口県体育協会(予定)
- 5 日時 平成29年5月14日（日）13時試合開始予定
（全国小学生学年別柔道大会山口県予選会終了後）
- 6 受付 11時から12時30分まで（計量はありません。）
- 7 会場 〒747-0833
防府市浜方174-1 防府市武道館（0835-24-6000）
- 8 選手選考 九州大会（平成29年6月17日、18日長崎市「長崎県立総合体育館メインアリーナ」（長崎市油木町7-1）開催）の団体戦・個人戦の山口県代表選手を、一般社団法人山口県柔道協会強化委員(以下「強化委員」という。)が、次に示す試合の内容を勘案し選考する。
なお、選考結果は、試合終了後、発表する。
- 9 選考試合
 - (1) 方法 次の区分でのトーナメント戦とする。なお、体重区分は九州大会当日の体重とする。
 - ①小学1年生（体重無差別）
 - ②小学2年生（体重無差別）
 - ③小学3年生（35kg未満級）
 - ④小学3年生（35kg超級）
 - ⑤小学4年生男子（-40kg級）
 - ⑥小学4年生男子（40kg超級）
 - ⑦小学4年生女子（-35kg級）
 - ⑧小学4年生女子（35kg超級）
 - (2) 選考試合参加資格
 - ①平成29年4月2日現在で当該学年であること。
 - ②スポーツ障害保険に加入していること。
 - ③代表選手に選考された場合、九州大会（平成29年6月17日、18日長崎市開催 費用は本人負担）に出場すること。
 - ④九州大会当日における体重区分を見越して、申込書に体重を記入すること。
（選考試合当日は体重測定を行わない。審判員が階級に疑義を認める場合は、体重測定し出場の可否の判断をする。）
 - (3) 参加料 1人 500円（大会当日、受付にて各団体でまとめて納入すること。欠席の場合も納入すること。）
 - (4) 試合規程
 - ①国際柔道連盟試合審判規定（2017-2020）・国内における「少年大会特別規定」並びに本大会申し

合せ事項により行う。

②試合時間は2分間とする。

③勝敗の決定基準は「1本」「技あり」「僅差」とする。

「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する。（延長戦は行わない）

（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）

（「指導」数に差が出ても判定になる例＝0対1、1対2）

④九州少年柔道大会での特別規定（片膝背負い等の取扱い）については、予選会では適用しない。

(5) 参加申込 参加者は、各団体（チーム）が添付の申込書により原則として電子メールで申込むこと。

申込期限 平成29年4月13日（水）必着（期限を過ぎての申込は受け付けない）

申込先 一般社団法人山口県柔道協会

電子メールアドレス : yjk@c-able.ne.jp

〒753-0871 山口市朝田581-2

電話 083-924-9510

(6) 組合せ 平成29年4月下旬に一般社団法人山口県柔道協会少年強化委員により実施する。

(7) 留意事項 選手及び指導者は下記の事項を厳守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

なお、至急、専門医（脳神経外科）の精密検査を受けること。練習開始に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。また、当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面で事故報告書を提出すること。

③皮膚真菌症（トングランス感染症）については、感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合がある。

10 問合せ先 一般社団法人山口県柔道協会事務局 藤井 勝正

電話・FAX 083-924-9510

11 その他 九州大会の小学生5・6年生の山口県代表選手は全国小学生学年別柔道大会山口県予選会並び強化選手選考会の結果を参考に強化委員が選考する。